http://www.shika-implant.org/

インプラントニュース
第2号
平成16年8月20日発行

# Implant News No.2

日本口腔インプラント学会会報

発行人　川添　堯彬　　編　集　日本口腔インプラント学会広報委員会
事務局　〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル301 (財)口腔保健協会内
TEL. 03-3947-8891 FAX. 03-3947-8341
Eメールアドレス：jsoi@jsoi.jp

【本号のトピックス】

## 日本歯科医学会専門分科会加入承認
## 第34回学会総会・学術大会（大阪）案内

### 日本歯科医学会専門分科会加入承認

平成16年7月12日(月)に日本歯科医師会館で開催されました日本歯科医学会評議員会におきまして，本学会は日本歯科医学会専門分科会への加入が認められました。新國俊彦会長時代から加入申請が行われ，山根稔夫，古本啓一，末次恒夫，鈴木和夫と歴代の会長が，17年間にわたって加入申請手続きを行ってきましたが，川添堯彬会長になって長年の夢が実現しました。今後は社団法人取得に向かって執行部は，全力を捧げます。

### 平成15年度臨時総会開催報告

平成16年3月28日（日）に平成15年度臨時総会が東京ガーデンパレスにおいて開催され，

- 社団法人申請の準備活動
- 会則一部改正案
- 細則一部改正案
- 表彰制度規程改正案
- 名誉会員規程改正案

が議決されましたのでご報告します。

本学会は，昨年の定例総会から法人化を目指すことを活動目標として活動してきましたが，今臨時総会では法人の種類を社団法人として活動していくことが議決されました。今後は，社団法人の取得に向けて全力を挙げて活動していきます。

会則の主な改正点は，会員資格が正会員，準会員，名誉会員，外国人会員，学生会員および賛助会員に改められた点です。正会員は，従来からの会員に相当する資格で，歯科医師，医師および歯学研究者と改めました。準会員とは，主に歯科技工士および歯科衛生士の方を対象とした会員資格です。なお，現在正会員資格で入会されている方で準会員を希望される方は，準会員に資格変更は可能です。外国人会員とは，日本国籍を有しない歯科医師，医師および歯学研究者の方を対象とした会員資格です。学生会員は，歯科大学学生，歯学部学生および歯科関連学校生の方を対象とした会員資格です。この結果，多くの職域の方が参加しやすい会員資格が整いました。ただし，雑誌送付などの点で一部正会員に比べて権利が制限されています。

表彰制度規程改正案では，学会功労賞，学会特別賞および優秀論文賞が学会特別功労賞，学会特別賞および優秀賞に改められました。優秀賞の種類は，論文賞および優秀発表賞に改められましたが，論文賞の種類としては，学会特別論文賞，学会優秀論文賞および学会奨励論文賞です。また，優秀発表賞として優秀研究発表賞（対象：課題口演）および日本口腔インプラント学会デンツプライ三金賞（対象：ポスター口演）が新たに設けられました。この二つの賞は，第34回学術大会の発表演題から適用されます。

新しくなった学会特別功労賞，学会特別賞，論文賞および名誉会員については，平成17年度の表彰より適用され，平成16年度表彰については，旧規程で学会功労賞，学会特別賞，名誉会員および優秀論文賞の選考が行われます。

# 平成15年度日本口腔インプラント学会 各種委員会活動報告

庶務委員会報告
委員長　山内六男

平成15年度には，庶務委員会7回開催致しました。検討事項が多く，時間内に委員会が終了することはなく，毎回積み残しがでる委員会運営となり，委員の先生方にはご迷惑をおかけすることになりました。昨年は，常任理事会6回，理事会3回，評議員会2回，総会1回，臨時総会1回を開催し，それぞれの次第および議事録を作成しました。新執行部に変わった初年度とあって，議決事項が多く会議開催が例年より多くなりました。議事録作成には，幹事の高橋俊之，高嶋秀隆両先生に大変な労力をおかけしましたが，紙面を借りてお礼申し上げます。

また，日本歯科医学会専門分科会加入申請書を庶務委員会で原案作成し，常任理事会等で協議した後，9月に提出いたしました。

財務委員会報告
委員長　山根　進

本会では前年度の決算報告書を作成，監査後に本年度の予算（案）が作成されています。4月1日より総会開催までの予算執行の空白期間があり，財務委員会では月次決算書の関係上，総会までの平成16年度暫定予算（案）を審議し，3月の理事会に提出し了承されました。支出において，平成15年度より発行になりましたニュースレターの発行発送費を新たな科目として設け，また，平成16年度会員名簿作成にあたり，名簿作成費を増加しました。

編集委員会報告
委員長　諏訪文彦

学会誌を第17巻1号（平成16年3月31日発行）からA4判サイズに，文字サイズも10ポイントにさせていただきました。これに伴い，投稿規程も改正しました。論文を書く前に，またお書きになった論文を投稿前にもう一度，投稿規程に沿っているかご確認をお願い致します。

査読結果の判定方法の改善により，投稿規程に沿わない記述が多くみられる投稿論文は，著者に査読前に戻させていただくことになりました。査読の効率化のため，ご了解のほどお願い致します。

学術委員会報告
委員長　前田芳信

学術委員会では，平成15年度の活動として学会主導型の大会運営を進めるための学術大会開催のしおりの作成ならびに，それに関連した学術委員会の申し合わせ事項の整理を行いました。

その結果，平成16年度版の学術大会開催のしおり，ならびに申し合わせ事項の案を作成しました。これに基づき，第34，35回の学術大会の大会長には委員会に参加していただき，プログラムの構成等の打ち合わせを進めています。

教育委員会報告
委員長　伊東隆利

日本口腔インプラント学会編「口腔インプラント学カリキュラム」の発行を目指して，全国の歯科大学，歯学部におけるインプラント学に関する教育，臨床，研究の実態把握のため，アンケート調査を行っています。100時間コース開催の研修施設についても，コースの内容，抄録など資料の提出をお願いしています。結果については，後日，発表予定です。出来上がれば日本のインプラント学に関する一大資料宝庫となるでしょう。

用語委員会報告
委員長　鴨井久一

「口腔インプラント用語集」の発刊に伴い，使用頻度の高い用語を委員会で選択・抽出しています。また，用語集に記載されていない新しい用語についても検討しております。

今年度は，電子カルテの骨子および方法について検討します。

## 渉外委員会報告
委員長　石川　烈

第6回国際口腔インプラント会議（WCOI 6）は，アラバマ大学のJack E. Lemons教授を大会長に，Charles M. Weiss先生を学術委員長として，2004年3月4日から8日までの日程で開催されました。会議期間中，各種表彰式・国際会議・テーブルクリニック・ポスター講演・企業関連講演からIADRとのサテライトミーティングが活発に遂行されました。参加国の数は26カ国で，参加者総数は約400名，日本からの参加者は約150名でした。

WCOI 6の目的は2つあり，主目的は5つのPlenary SessionからConsensus Developmental Conference（CDC）を得ること，第二には，基礎および臨床研究報告，さらにはテーブルクリニックによる臨床手技のプレゼンテーションでした。

Plenary Sessionの主題は，Ⅰ．鑑別診断・治療計画・管理，Ⅱ．骨拡大-局所と全身，Ⅲ．補綴的最適化，Ⅳ．失敗および可逆的合併症，Ⅴ．教育および資格認定でした。3月5日と7日の2日間で，午前および午後に各6名の演者から，それぞれ1名のモデレーターと7名のパネリストが各テーマごとに発表・調査報告を受けました。最後に演者とパネリストまたは参加者の間でディスカッションを行い，結論が集約されました。

WCOI 6では，日本から川添堯彬教授（JSOI会長），斎藤　毅教授（日本歯科医学会会長・JSOI副会長），石川　烈教授（JSOI渉外委員長），岸正孝教授（東京歯科大），瀬戸晥一教授（鶴見大学歯学部），大里重雄助教授（日本歯科大学歯学部）がモデレーターに，パネリストには，インプラント臨床で高名な7名の大学所属の先生方がそれぞれ任務を遂行されました。主題に関する日本からの発表は，5名のインプラント臨床医が行いました。これらの発表・報告およびディスカッションから要約されたCDCは，ブックおよびCDとして近いうちに公表されることになっています。

テーブルクリニックでは，125テーブルにおいてラップトップPCを使った多様な報告が行われました。他方，ポスター講演では，70題が報告され，活発に討議されました。また，最終日の3月8日には，サテライトAADR/IADRリサーチセッションとして，組織再生科学と技術，歯科インプラントおよび顎顔面研究における遺伝子および薬物治療，合成・生物・複合材料についてのナノテクノロジー，バイオメカニクス・治癒・早期負荷をテーマに，12演題の口頭発表と26演題のポスター発表が行われ，斬新な議論が展開されました。これらのほかに，7つの企業関連の臨床コースと，10のコ・スポンサーコースが開催され，多くの参加者が集まりました。さらに，企業展示も約50社と数多く，かつ，広範な歯科領域から参加していました。

日本の多くの研究者や臨床医の方々が，今回のような国際会議において，堂々と発表し，ディスカッションに加わることは，きわめて有意義なことであると思われました。

## 認定委員会報告
委員長　添島義和

平成15年度は，名古屋で第1回認定医ケースプレゼンテーションの実施，研修施設長会議で臨床系と大学系施設活動の検討，各支部においては更新用教育講座の開催，認定医と指導医の更新資格審査，認定医・指導医の試験を実施しました。

平成16年度は5月と9月の，第34回大会時に認定医申請用教育講座および研修施設長会議の開催，認定医ケースプレゼンテーションの実施，6月～11月にかけ認定医・指導医更新資格審査，また16年度の認定医・指導医試験の開催などを予定しています。

## 会則委員会報告
委員長　湯浅保宏

去る平成16年3月28日の臨時総会において，社団法人化，会則一部改正，細則一部改正，表彰制度規程改正および名誉会員規程改正の議案がすべて承認されましたので，会則改正及び細則改正の要点をお知らせ致します。まず，第1章の目的の項と第8章　事業を統合し，「第2章　目的及び事業」としました。事業の項ではニュースレターが発行されるようになったことから，「学会誌など」を「学会誌及び他の刊行物」としました。会員の項では，会員資格を明確にしました。異動及び退会の項では未納期間を3年としました

ので，4年目には自動的に退会となります。また，未納期間の会員歴を会員歴として認めないこととしました。認定医の先生は十分ご注意ください。従来幹事は評議員から選出されていましたが，一般会員から指名できることになりました。理事会，評議員会および総会での委任状の有効性も明確にしました。これまで支部会則の規程はありませんでしたが，全支部に支部会則を設けることになりました。細則の一部改正では，定例総会で認められた広報委員会を各種委員会に追加しました。

なお，表彰制度規程改正および名誉会員規程改正については，表彰委員会報告をご覧ください。

倫理（医療検討）委員会報告
委員長　瀬戸晥一

インプラント治療における倫理規定の作成，ならびにインプラント治療の評価基準の作成を目標として討議を重ねています。臨床研究に関しては厚生労働省より倫理指針が通達されていますが，臨床上の倫理に関しては指針もなく，他の学会のものを参考として独自のものを作成する以外になく，慎重に進めることといたします。また，インプラント材料に関しても許認可基準が現在検討されているところであり，未承認材料の取り扱いも必ずしも明瞭ではありません。

インプラント治療の評価基準についても，1998年トロント会議で討論されたものの，これも現在に通用するものとはいい難いものです。要するに，インプラントを取り巻く医療環境は必ずしも整っていない現況では，治療に当たるものが十分な医学常識の上に立って慎重に臨床に取り組まれることが望まれます。

表彰委員会報告
委員長　梅原正年

昨年度は，名誉会員，学会功労賞，学会特別賞に関する規程，ならびに表彰規程の改正案作成を行いました。また，名誉会員については，表彰委員会で選考基準を一元化する目的で原案を会則委員会に提示，受賞者資格を明確にしました。

表彰の種類は，1）学会特別功労賞，2）学会特別賞，3）優秀賞の3種類とするとともに，学会特別功労賞および学会特別賞推薦選考基準を明確にしました。

優秀賞は，論文賞と発表賞に分けて顕彰することにしました。論文賞は，1）学会特別論文賞，2）学会優秀論文賞，3）学会奨励論文賞の3種類としました。学会特別論文賞は，選考時に満55歳以上，会員歴20年以上で，本学会誌に掲載された優秀な論文の指導者に授与するものです。学会優秀論文賞は，36歳以上，会員歴5年以上で，本学会誌に掲載された優秀な論文の筆頭者に授与するものです。学会奨励論文賞は，従来の優秀論文賞に相当するものです。発表賞では，まず重点研究テーマを決めて応募した口頭発表のなかから優秀な発表をした者に優秀研究発表賞を授けることにしました。また，ポスター発表のなかから優秀な発表をした者を選考し，日本口腔インプラント学会デンツプライ三金賞を授けることとしました。

広報委員会報告
委員長　山内六男

昨年度は3回の委員会を開催し，新執行部の目標であったニュースレターの発行を昨年10月に行うことが出来ました。年2回の定期発行を行うため，各委員が記事を分担し，紙面を充実するよう努力しています。

ホームページは，認定医の電話番号，ニュースレター，最新情報，学術大会案内などを更新しました。また，英語ホームページの充実も図りました。新しいアドレスがjsoi@jsoi.jpになりましたので，ご意見等がありましたら，是非お願い致します。

## 会員名簿発刊される

今回の改訂版会員名簿の特徴は，CD-ROMでの発行，TEL，FAX，E-mailの掲載などIT化に鑑み電子化連絡手段を可及的に増やし，情報量の増加を図ったことなどであります。これは，会員数の急激な増加に伴う膨大なデータの受容，IT化グローバル社会への対応，会務の能率化・スピード化などを図るためでもあります。

CD-ROMの使用方法については，使用説明を読んで頂ければ，簡単にできますので，是非ご活用ください。

## 日本歯科インプラント器材協議会の紹介

日本歯科インプラント器材協議会が一昨年に発足しましたが，協議会の発足の意義，本学会と今後の関係などについての意見交換会を川添堯彬会長，斎藤　毅副会長，山上哲贇副会長，瀬戸晥一倫理（医療検討）委員長，山内六男庶務委員長と，協議会の高尾親久会長，嵯峨親幸副会長，田岡隆久渉外担当役員の出席を得て，平成16年2月11日に開催し，今後とも話し合いの場を持つことが決まりました。そこで今回のインプラントニュースでは，会長の高尾親久氏に日本歯科インプラント器材協議会発足の意義，役割，展望について寄稿して頂きました。

高尾親久　会長

日本歯科インプラント器材協議会
会長　高尾親久

口腔インプラントが国内で臨床応用されてから既に30年以上も経過しましたが，特にここ10年間の口腔インプラントのハード，ソフト両面での進歩発展は目覚しいものがあります。

また同時に，国内で現在わずか120億といわれるインプラント市場でインプラント販売元が30数社にものぼり，各社が自らのマーケットシェアー拡大にしのぎを削って競争しているのが現状です。各社が自らの市場拡大に最大の努力をすることは営利を追及する企業としては当然の理ではありますが，競争が過熱してきますと自らの市場拡大のみにとらわれて本来の患者さんのための医療への貢献という社会的責任を逸脱する危険性も出てきます。

昨今，公正取引協議会より「最近，特に歯科用インプラントの販売における公正競争規約抵触の疑義が多発している」と指摘されており，これはまさに競争が過熱状態を呈してきている現象で憂慮すべき状況だと考えられます。

特に生体材料を取り扱う企業として，「企業の競争原理」と「医療の社会的責任」のバランスにたった企業活動が今特に要求されていると感じ，2002年9月に関係企業の有志が集い話し合いがもたれました。

話し合いの結果，① 口腔インプラントを販売する販売元のお互いの親睦を図る ② 業界の健全な発展に努める ③ より良き歯科インプラント医療に貢献することを目的とした「日本歯科インプラント器材協議会」が国内販売元10社の入会により2002年10月に発足しました。

現在までの活動は，主に協議会設立主旨の啓蒙とインプラントを販売するすべての会社に入会を依頼してきました。2004年3月現在，入会企業は13社となっております。

現在は，2005年4月より薬事法の大改正が行われますので，協議会の全会員による薬事法改正の解釈と問題点，およびその対策についての勉強会を活発に行っております。

将来は口腔インプラント学会における展示で，未承認品の展示および医療用具添付文書等の関連法令の遵守を目的に自主規制を行いたいと考えております。過去，口腔インプラント学会の展示会場で，米国のある会社が厚生省（当時）の許可を得ず脱灰凍結乾燥骨をバッグに積み込んでブースで現金販売したり，また最近では，2003年の名古屋の学会展示会場で韓国系の会社がやはり同様に無許可で，凍結乾燥骨やヒト由来の移植用皮膚を宣伝，販売活動をしていたことは，薬事未承認の生体材料を学会展示会場で堂々と販売する姿勢に同業者として誠に遺憾に堪えません。

また，協議会の今後の活動として，患者さんへのインプラント啓蒙活動を通じて，歯科インプラントマーケットの拡大のみならず，患者さんのインプラント治療への正しい理解を求める活動も視野においております。

協議会の活動の一部は，参加する企業にとっては確かに自己犠牲を伴うものですが，長期的な視野にたってインプラント市場の裾野を拡大することは，一番大切な患者さんはもちろん，インプラント治療にかかわる歯科医の先生方，またわれわれ販売元にとりましてもすべてがハッピーになることは間違いありません。患者さんへの啓蒙は，今まではすべて歯科医の先生方の努力でなされておりましたが，今後は各社による特定のインプラントの宣伝のみでなく，協議会としてインプラントそのものの啓蒙活動に尽力するつもりでおります。

日本口腔インプラント学会会員の諸先生方の「日本歯科インプラント器材協議会」へのご理解と，暖かいご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

# 日本歯科インプラント器材協議会は
# 業界の健全な発展に努力し
# より良き歯科インプラント医療に貢献します

日本歯科インプラント器材協議会の加盟社は、
日本歯科材料工業協同組合、日本歯科器械工業協同組合、日本歯科用品輸入協会のいずれかに所属し、
インプラント器材の販売に携わる国内企業によって構成されています。
本会の目的は、医療関連企業としての倫理性を常に念頭に置き、
業界の健全な発展に努力するとともに、より良き歯科インプラント医療に貢献することにあります。

株式会社 ジーシー

株式会社 アスパック コーポレーション

DAISHIN 大信貿易株式会社

アルタテックジャパン株式会社

白水貿易株式会社

株式会社 インプラテックス

株式会社 白鵬

株式会社 ヨシダ

3i Japan
株式会社 インプラント・イノベイションズ・ジャパン

DENICS INTERNATIONAL
株式会社デニックス・インターナショナル

クロスフィールド株式会社

Nobel Biocare
ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

DENTSPLY-Sankin
デンツプライ三金株式会社

順不同

## 日本歯科インプラント器材協議会

事務局：〒564―0063　大阪府吹田市江坂町1―23―28　江坂南ロビル　株式会社アスパックコーポレーション内
TEL. 06―6384―6921　FAX. 06―6384―6746

## 研修施設紹介

現在，大学系研修施設 24 施設，臨床系研修施設 18 施設が指定されており，研修医の教育，臨床指導等を行っています。しかし，これら研修施設の活動についてはあまり知られていないようですので，今後これら研修施設の概要について紹介していきます。

今回は，東北・北海道支部，九州支部からそれぞれ 2 施設をご紹介します。

## 九州インプラント研究会（KIRG）

九州インプラント研究会会長　添島義和

九州インプラント研究会は，口腔インプラントの知識の習得や治療技術の向上こそが，欠損歯列や顎外科のパラダイムシフトにあるという概念のもとに，有志が集まり特定のインプラントシステムに偏ることなく広範に研修および研究を目指そうと，1985 年 4 月に発足しました。会員は現在 25 名であり，開業医 19 名，大学教授または助教授 6 名の構成です。会員は，インプラントはもとより，補綴・外科・歯周病・麻酔とその分野のスペシャリストが多く，開業医はインプラントを特科として各地で活動を行っております。また，大学関係者は専門分野の臨床・研究・教育に活動されています（現在会員は，日本口腔インプラント学会指導医 7 名，認定医 19 名，日本補綴歯科学会指導医 4 名，日本口腔外科学会指導医 3 名，日本歯周病学会指導医 3 名，日本歯科麻酔学会認定医 1 名）。

1．研究会活動

研究会は，年 5 回の例会と年 1〜2 回の学術講演会を実施しております。例会は会員のケースプレゼンテーションと抄読会からなり，1 日かけて充実したディスカッションを行います。また，不定期に外来講師をお招きして新しい情報も取り入れるだけでなく，国際間のネットワークを活用しながら最新の治療技術や研究情報も導入しております。このことは開業医が治療一辺倒から脱却

第 9 回九州インプラント研究会
100 時間講習会開講式

井出吉信教授の解剖学講義

外科学の基本実習

ITI インプラントの講義と実習

し，臨床の疑問やアイディアを大学研究機関と共同研究するという行動に現れ，Evidence Based Medicine を基本理念とした研修を究極の目的としています。

学術講演会は，年 1 または 2 回 2 日間の日程で開催され，研修医の発表・会員発表・会長講演・特別講演・教育講演のプログラムで実施します。本講演会はオープンスタイルで例年 300 人程度の参加者の下，白熱したディスカッションが繰り広げられます。これまで，10 週年と 15 周年の記念学術大会を開催し，来年は 20 周年という節目にあたり，福岡市にて 20 周年記念学術講演会（平成 17 年 12 月 10 日，11 日）を企画中です。多数の会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2．研修施設としての活動

本会は，九州で唯一の日本口腔インプラント学会の指定研修施設として 13 年前に指定されました。認定医申請のための講習会を毎年開催し，4 月～11 月までに 130 時間かけて開講し，全国から 20 数名の先生方が毎年参加されます。これまで，184 名の先生方が受講され，本年度は 4 月より 10 期生 24 名を迎え講習会を行っております。研修終了後には九州インプラント研究会の研修医となられた先生のうち，これまで 15 名が日本口腔インプラント学会認定医を取得されました。本会の講習会の特徴は，著名な外来講師や九州インプラント研究会会員による充実した講演に加え，講演会担当会員によるコーディネーターとしての親切丁寧な指導によって，開業医にとってインプラントの知識や治療技術の習得と同時に医院の質の向上に大きく役立っているものと確信しております。

3．学会活動と学会支援

本会の会員には，日本口腔インプラント学会の前会長や現九州支部支部長，常任理事，理事，評議員に選出された先生方が在籍され，各種委員会で活動されています。学会においては，日本口腔インプラント学会総会や支部学術大会において，積極的に参加するとともに一般発表・教育講演・特別講演の演者等に活躍されています。

4．国際交流

会員はそれぞれ海外の学会に所属し，国際学会に積極的に参加しています。本会の唯一の海外会員としてドイツ・フライブルグ大学クレッケラー教授も在籍され，香月教授はベトナム・ラオス・スリランカ・アフリカで，松浦教授は中国および韓国で，学術講演や医療技術の指導をボランティア活動として実施され，活発な国際交流が進んでいます。

今後とも九州インプラント研究会をよろしくご指導お願いいたします。

## 北海道形成歯科研究会

施設長　松沢耕介

当研究会のスタートは，1972 年現 当会顧問であります湯浅保宏先生と 2 人で，奈良の野阪　嵩先生の診療室で行われた，故 山根稔夫先生の手術を見学したことが始まりでした。伺ってみて最初に驚いたのは，そこではすでに笑気鎮静法を使っており，手術は骨膜下法インプラントの一次オペだったと記憶しております。

早速，その年のうちに湯浅先生と筆者の 2 人宇部まで参内し，山根先生の門を叩いた訳であります。

当時宇部にはすでに九大の末次恒夫教授を始め，故 田中重喜，岸　克好，野阪　嵩，山内　嵩らの先生が山根先生の門下生として動物実験や実際に患者に対してインプラントを埋入し，成果を挙げておりました。日本形成歯科研究会として動物舎をも有し，山口大学医学部口腔外科の山内寿

男教授の指導の下，日本でのインプラントの黎明期を必死で走っておりました。

当時はまだ臨床家による研究会というものもそれほど盛んでない時代に，北海道にも2〜3の研究会がお互いに外来講師を招聘しながら研鑽を積んでいた時代であり，われわれも当時東京歯学講習所の所長でありました真鍋満太先生を師として北海道臨床歯学研究会という会に所属して当時の先端技術であった咬合理論，ポーセレンワークやらを習っていた時代でありました。

われわれが宇部へ通いだした翌年に，山根先生を専任講師として北海道に研究会を立ち上げ，山根先生から暖簾を分けて頂き，北海道形成歯科研究会として湯浅先生を会長にスタートいたしました。

その後，宇部にも北海道から現 北日本インプラント研究会会長三嶋　顕先生，永山正人先生，新潟から現 新潟再生歯学研究会施設長の榎本紘昭先生らが本会に合流しながら20年近く通い続けたのであります。

その間に，国内あるいは海外の学会において多くの発表を行っております。国内においては骨膜下法インプラントに関する報告，骨内法インプラントに関する報告特にブレードベントインプラント，移植，再植に関する報告，画像診断特にCT画像の応用等その時代の先進的な問題を提起してまいりました。

また，海外においてはAAID年次大会ラスベガス，パリ，マイアミでの発表，アクティブメンバー認証等の足跡を残しております。さらに，1987年の第17回，1999年の第29回日本口腔インプラント学会総会・学術大会と2度に亘る大きな大会を主管いたしております。

現在第3代会長として小川　優が，専務理事として石井良明が中心となって活動しております。

北海道大学には4人の大学院生を送り基礎研究に挑んでおり，臨床面では2003年ハーバード大学で開催されたITIカンファランスに吉村治範副会長，三上　格理事の2名が参加し，吉村は最優秀賞を得ました。さらに松崎紘一副会長を中心にパリに進出し，大きな成果を挙げております。

また，当研究会からは本年度まで40名弱の認定医を輩出し，学会中枢でも活発な活動を行いながら，若手育成にも力を入れ，定期研修会，公開講座，例会，症例検討会を積極的に開催し，現在に至っております。

## 九州大学大学院歯学研究院<br>口腔機能修復学講座

文責　松下恭之

当講座では末次恒夫九州大学名誉教授がインプラント治療を臨床に導入されて以来，インプラント研修施設としての活動を行ってきています。

現在のスタッフは研修施設長　古谷野　潔（指導医，認定医）をはじめとし，教官として，松下恭之（認定医），築山能大，鳥谷浩平，松山美和，市来利香，鮎川保則，伊山慎二を配しています。医員，研修医を含めると，総スタッフは50名の所帯です（写真）。

研修会については，週1回のインプラントセミナーと症例検討会，抄読会を行っています。インプラントセミナーでは，レビュー，症例発表，インプラントに関する基礎知識の教育などをメインに行っています。またペリオ，予防，麻酔，外科，放射線などの関連各科の講師によるセミナー，および学外講師（外国人研究者，他大学研究者，臨床医，技工士など）によるセミナーを年間6〜10回程度開催し，先端の情報をシェアできるような体制としています。とくに今年度からはリスクマネージメントとして，歯科麻酔科講師による講義と実習を計画しているところです。イン

スタッフ写真

ブタ実習

オペ室

プラント手術のスキルアップに関しては，年 2〜3 回程度各種インプラントの埋入実習と，ブタの顎骨を使用したソフトティッシュマネージメントの実習（写真），補綴実習を行っています。症例検討会では，歯科医療センターの全症例を対象として，関連各科の歯科医師も出席して，治療計画や術式等の検討を行っています。抄読会ではインプラントに関連した海外文献の抄読を行い，最先端の情報を取り入れるようにしています。

外来においては，指導教官と担当医がペアとなって，患者のインプラント治療を進めています。とくに手術・上部構造製作については必ず指導教官の指導の下で行っています。補綴科が母体ですので，補綴主導型の治療手順をベースとして，インプラント治療を臨床に応用しています。また，高度な外科手技が必要な症例では口腔外科・麻酔科との連携指導体制をとっています。2002 年より，インプラント外来が設立され，各関連講座との連携はより容易となりました。ことに，高齢者や有病者などのハイリスクの患者に対しては入院による手術を行えるよう，クリティカルパスを使って，麻酔科，口腔外科との連携を行っています。

インプラントの手術は義歯科・咬合治療科に隣接した専用の手術室を使って，モニタリングしながら行います（写真）。ここでは，局麻あるいは静脈内鎮静法を用いたインプラント手術を対象としています。感染症，有病者のインプラント治療の一部は，全身管理歯科でも行っています。全身麻酔下でのインプラント手術を行う場合には，中央手術室を使用して行います。2003 年度のインプラントに関連した手術件数は 180 件で，順調に増加してきているようです。

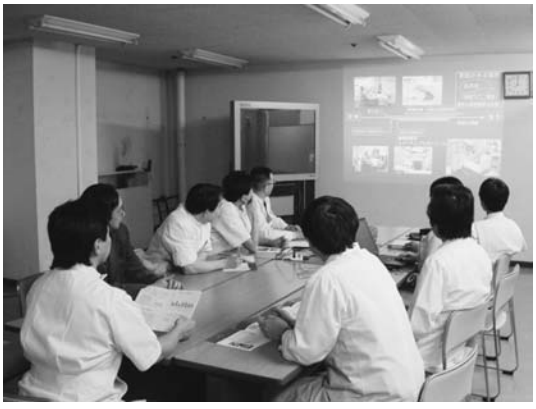
インプラントに関する研究としては，歯科インプラントの生体適合性に関する実験病理学的研究，インプラント・組織界面の超微細構造の観察，歯科インプラントの応力解析，インプラント上部構造に与える咬合に関する研究，咬合力下におけるインプラント・天然歯の咬合圧分布，各種インプラントにおける臨床疫学的研究などを行っています。

## 北海道医療大学歯学部<br>歯科補綴学第二講座

文責　越智守生

北海道医療大学歯学部では，日本口腔インプラント学会指定研修施設としての活動を活発化させるため，平成 15 年 3 月から歯科医療の安全性の向上と質の高い歯科医療を提供することを目的として，インプラント歯科専門外来を開設しました。現在は，歯科補綴科をはじめ口腔外科・歯科麻酔科・歯科放射線科・歯科技工部の 5 つの分野からスペシャリストを選出してもらい，さまざまなインプラント症例に取り組んでいます。

インプラント歯科専門外来の活動内容としては，外来でのインプラント治療に加えて週 1 回の合同カンファレンス・インプラント患者用のクリニカルパスの作成・リスクマネジメントの設定・



カンファレンス風景

救命救急処置の講習会

専門外来内での講習会といったことを中心に行ってきました。インプラント歯科専門外来を開設して以来，以前の補綴科単独または口腔外科単独でインプラント治療を行っていた頃と比べると，一つの症例に対してそれぞれの専門的な立場からの治療方針が聞け，より質の高いインプラント治療を提供できることが可能となったと実感しています。また現在のところ，歯周病科・矯正歯科の参加がないため，近々両科も加えさらにインプラント歯科専門外来を充実させていく予定であります。しかし，他科との連携によるインプラント治療を開始してから良いことづくめといった訳ではありません。それぞれの科が違うため連絡事項が伝わるまでに以前より時間がかかっていること，各科のスタッフが集合できる日が限定されてしまうこと，診断用模型・エックス線写真といった資料がどこの科にあるのかと管理が難しくなってきたことなど，これから改善していくべき問題点も出てきました。

最近開催されたインプラント歯科専門外来内の講習会は，歯科麻酔科主催による自動体外式除細動器の使用法と救急救命処置を題材として行われました。歯科診療中に患者の具合が悪くなったときの対応法，偶発症発生時にドキッとしないために生体情報モニター利用の重要性，さらに歯科診療中の偶発症の予防対策など，より安全な歯科医療を提供するためには必要不可欠な内容でした。こういった講習会は，日常のインプラント歯科専門外来で治療している際に，それぞれの科で気づいた不備な点・知識が乏しいと思われる点を重点的に指摘し合い，それらを改善することでさらに質の高いチーム医療を提供できます。

インプラント歯科専門外来が立ち上がり1年経過しました。先日の学内学会においては短期間ながら患者の統計や活動内容，チーム医療ならではの難症例などを発表し，他の診療科でもインプラント患者の発掘を，また開業医の先生方には本大学に紹介をと宣伝させてもらいました。今後は地域医療に貢献するため，学外の開業医の先生方からのインプラント治療に関する相談を受けつけ，一緒に診断および治療方針の決定を行っていくことで力になれればと考えています。各科の連携によるチーム医療によりさらに安全性の高い・良質なインプラント治療を提供するため，日本口腔インプラント学会の研修施設である当診療科は地域のインプラント治療の拠点として日夜奮闘しております。

**広報委員会からのお知らせ**

広報委員会では，会員の皆様から広くご意見，ご要望をお待ちしておりますので，以下の連絡先までお願いいたします。

広報委員会委員長　山内六男
委員：松下恭之，児玉利朗，嶋田　淳，十河基文，内藤宗孝
〒500-8309　岐阜市都通5-15
朝日大学歯科臨床研究所附属歯科診療所
電話 058-253-7272
ファックス 058-254-1424
広報委員会メールアドレス：jsoi@jsoi.jp

# 第34回日本口腔インプラント学会総会・学術大会案内
## （第24回日本口腔インプラント学会　近畿・北陸支部総会併催）

大　会　長　前田芳信
準備委員長　十河基文

第34回日本口腔インプラント学会総会・学術大会は，**平成16年9月24日（金）～26日（日）**の3日間，**「大阪国際会議場」**で行われます。会員の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

メインテーマを「先進展開するインプラント治療―インターディシプリナリー・トリートメント領域への拡大」とし，副題である「インターディシプリナリー」に的を絞って開催致します。「インターディシプリナリー」とは聞きなれない言葉かもしれませんが，「学際的」，「包括的」と訳され，口腔外科，歯周，補綴，矯正，コ・デンタルスタッフによる各専門の縦割りではなく，横繋がりの密にコラボレーションされた治療を意味します。本大会ではインプラントを中心として日本の土壌に馴染んだお一人の先生による治療，欧米のような専門医制によるコラボレートされた治療，さらには歯科技工士，歯科衛生士のインプラント治療における役割などを考えた学術大会とします。

また今回は，以下の4つを特徴とします。

1. 2会場制とせず，メイン会場に集中した講演会方式を採用すること。
2. 3つの地域（アジア，ヨーロッパ，アメリカ）からの演者と，国際ポスターによる国際化を目指すこと。
3. 業者展示を活性化すること。
4. 認定医の申請/更新教育講座を除いて，土日の2日間に集中すること（日曜は15時過ぎには終了）。

会員の皆様が「来てよかった！」と思って頂ける内容にしたいと思っておりますので，ご期待下さい。

■会　期：

**平成16年9月24日（金）**：理事会，評議員会，研修施設長会議，認定医更新用教育講座

**9月25日（土）**：特別講演(1)，特別講演(2)，シンポジウム(1)，先進研究トピックス，課題口演，一般口演，一般ポスターセッション，国際ポスターセッション，認定医ケースプレゼンテーション，市民フォーラム，業者テーブルクリニック，業者展示

※口腔機能学研連シンポジウム併催

**9月26日（日）**：シンポジウム(2)，特別講演(3)，歯科技工士セッション，歯科衛生士セッション，一般ポスターセッション，国際ポスターセッション，認定医ケースプレゼンテーション，認定医申請用教育講座，業者展示

■会　場：〒530-005　大阪市北区中之島5-3-51
大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
TEL：06-4803-5555（代表）
FAX：06-4803-5620
URL：http：//www.gco.co.jp

■前納締め切り：**平成16年9月10日（金）**
2転3転し，皆様方には大変ご迷惑をかけております。準備が遅れておりますことをお詫び申し上げるとともに，再々度，事前申込み締め切りを延長させて頂きます。

■事務局：大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部
〒565-0871　大阪府吹田市山田丘1-8
準備委員長　十河基文（そごうもとふみ）
TEL：06-6879-2386（ダイヤルイン）
FAX：06-6879-2387
大会専用E-mail：34jsoi@dent.osaka-u.ac.jp
（これまでのE-mailアドレスでも可能です：sogo@dent.osaka-u.ac.jp）

■詳しくはプログラム集をご覧下さい。

# 支部活動報告

## 中国・四国支部活動報告

中国・四国支部長　山根　進

中国・四国支部の会員数は426名（岡山76，鳥取8，島根12，広島102，山口67，香川39，愛媛45，徳島55，高知22）であります（平成16年2月20日現在）。全国の会員総数は5,474名であり，全国歯科医師数88,410名の6.2%が日本口腔インプラント学会に入会されていることになりますが，中国・四国歯科医師数7,758名に対して5.5%が入会しているのみであります。中国・四国支部の会員数を全国平均率に上げるためには480名にする必要があり，現会員数を60名増加しなければなりません。そのためには学会の日常活動を活発にすることはもちろんであり，支部ニュースレター発行および充実，支部ホームページ開設をしていきます。支部総会および学術大会を活性化し，歯科医師への啓蒙および入会勧誘を試み，社会に対しては一般市民へのインプラントの普及および情報提供をしていきます。中国・四国支部は地理的に山陰地区（島根，鳥取県），山陽地区（岡山，広島，山口県），四国地区（香川，愛媛，徳島，高知県）と広域に存在しており，各々の県に連絡係を設置して，お互いの連絡を密にして情報交換をしていきます。また，大学と開業医がインプラントに関し病診連携をどのように進めていくか具体策を模索していく必要があります。支部は本来本部の補完組織として連絡係ではありますが，その連絡が中国・四国支部でスムースにいくためには上記で述べたことを実行する必要があります。

平成15年度の中国・四国支部の活動として，支部総会および学術大会は松山で須之内淳二愛媛県歯科医師会長を大会長，村上広樹本部理事を実行委員長のもとに平成15年11月15，16日に開催されました。いままでは身内の顔見せという雰囲気でしたが，この度は出席者が多く，活発な質問が若い開業医から出ていました。活性化の傾向が中国・四国支部にも出てきており，今後を期待しております。平成16年度支部総会・学術大会は平成16年11月13，14日，鳥取において岡本日出夫先生を大会長に開催されますので，一人でも多くご出席していただきたいと思います。なお，松山の総会で，長畠駿一郎先生が支部長を辞退され，残りの任期を私が就任することになりました。ご指導，ご鞭撻よろしくお願いいたします。

## 九州支部活動報告

九州支部長　添島義和

日本口腔インプラント学会九州支部は平成16年4月現在732名の会員で，平成15年度の活動として，平成16年2月21日・22日に第21回九州支部学術大会（大会長：近藤俊彦，大会実行委員長：阿部成善）を大分県の別府コンベンションビューローで開催しました。1日目の午後3時より1時間30分の認定医更新用教育講座を実施しました。東京歯科大学臨床検査学研究室教授井上孝先生による「インプラントのエヴィデンス2003」と題した講演が行われました。参加者は約150名であり，置換医療と再生医療の共存とTissue engineeringの将来展望，さらには遺伝子検査の臨床応用などの最新の講演内容に深い感銘を受けました。講演終了後は，九州支部拡大世話人会会議と懇親会を行いました。

2日目の午前は，特別講演としてドイツ・フライブルグ大学歯周外科教室教授Gisbert Krekeler先生をお招きして「インプラントに永遠の命を求めて～臨床30年，種々の症例から学んだもの～」と題した講演をしていただきました。講演は30年間の臨床経験を踏まえ，ITIインプラントの良好な生体適合性に裏付けられた長期臨床成績，10,000本以上植立したインプラントの合併症，補綴コンポーネントの紹介，抜歯即時インプラント（TEインプラント）などの内容が講演されました。特に講演では，長期臨床経験とエビデンスを基礎とした多数の臨床例や長期症例の結果に深い感銘を覚えました。

午後のプログラムとしては，一般口演58題・歯科衛生士教育講演・歯科技工士教育講演が実施されました。歯科衛生士教育講演は，武田孝之先生（東京都開業）に「チェアサイドで役立つイン

プラントの基礎知識」を，長期的予後確保のためのメインテナンスや天然歯との共存の観点から講演していただきました。歯科技工士教育講演は，松下恭之先生（九州大学大学院助教授）に「機能回復と生体・コンポーネント保全のためのインプラント補綴ガイドラインについて」を，メカニカルリスクファクターについてバイオメカニクスの観点から講演していただきました。また，関連器材の展示も同時に行われました。参加者は，九州管内のみならず全国から670名を超える出席者が認められ，支部学術大会としては多くの演題数や参加者数ともに盛大なものとなり，九州地区におけるインプラント治療への取り組みの真摯さが現れたものと考えられます。

平成16年度の第22回九州支部学術大会は，大会長後藤昌昭先生（佐賀大学歯科口腔外科学講座教授）のもとで準備が進められています。平成17年2月19日・20日に佐賀市文化会館で開催予定で，本年度と同様に多くの演題数や参加者数とともに盛大な学術大会にすべく会員の皆様のご協力をお願いいたします。

## WCOI 6開催される

大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部
前田芳信

さる3月4から7日まで，第6回のWCOIがハワイ，ホノルルのヒルトンホテルの会場に，日本，アメリカ，カナダ，オーストラリア，ブラジル，中国，韓国，シンガポールなどから400名を超える参加者が集めて成功裏に開催されました。学会では ① 診断と治療計画，② 骨条件の改善，③ 上部構造，④ 術後の問題と解決法，⑤ 教育と資格，に関するコンセンサスを作成するためのセッションがそれぞれ約10名の発表とディスカッションが2日間にわたって行われました。またポスター70題ならびにテーブルクリニック46題，学会を後援した各グループからの発表が行われました。臨床経験豊富な臨床家が多く参加しており，多くの示唆に富んだ発表があった反面，これからのインプラントの臨床をささえるであろう若い臨床家や研究者の発表の機会や参加が少なかったことは今後の本会の課題といえます。

なお，上記の5つのテーマに関するコンセンサスレポートを含めた抄録集（CD-ROM版もある）も発行される予定になっています。

## 平成15年度指導医合格者

小川　優（北海道形成歯科研究会）
木村博人（弘前大学）
安達　康（東京歯科大学）
尾関雅彦（昭和大学）
簗瀬武史（(社)日本歯科先端技術研究所）
又賀　泉（日本歯科大学新潟歯学部）
瀬川　良（朝日大学）

## 平成15年度認定医合格者

白井伸一（北海道医療大学）
南部　聡（北海道形成歯科研究会）
菅原和人（北日本口腔インプラント研究会）
木村博人（弘前大学）
安達　康（東京歯科大学）
阿多史雄（日本歯科大学）
新井真澄（日本歯科大学）
小笠原健文（日本歯科大学）
川原　淳（日本歯科大学）
斉藤巌根（日本歯科大学）
三好敬三（昭和大学）
阿久津透一（(社)日本歯科先端技術研究所）
池田哲哉（(社)日本歯科先端技術研究所）
上野栄一（(社)日本歯科先端技術研究所）
小森谷　亮（(社)日本歯科先端技術研究所）
白鳥徳彦（(社)日本歯科先端技術研究所）
高木　亮（(社)日本歯科先端技術研究所）
村田　功（(社)日本歯科先端技術研究所）

市川　優（ユニバーサルインプラント研究所）
川渕泰政（ユニバーサルインプラント研究所）
高橋　璋（ユニバーサルインプラント研究所）
古谷田泰夫（東京形成歯科研究会）
三﨑公晴（東京形成歯科研究会）
柳　時悦（東京形成歯科研究会）
川口和子（鶴見大学）
清水治彦（鶴見大学）
鈴木仙一（日本インプラント臨床研究会）
又賀　泉（日本歯科大学新潟歯学部）
斎藤貴司（愛知インプラントセンター）
小林祐之（京都インプラント研究所）
福岡幸伸（京都インプラント研究所）
松下恭之（九州大学）
陣内重雄（佐賀大学）
西村賢二（佐賀大学）
岸田　剛（九州インプラント研究会）
重原　聡（九州インプラント研究会）
堀川　正（九州インプラント研究会）
吉永　修（九州インプラント研究会）

## 平成 15 年度基礎系指導医合格者

高橋常男（神奈川歯科大学）

## 新入会者紹介

平成 15 年 9 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日までに以下の先生方が新しく入会されましたので，ご紹介致します。

金井　亨，　佐藤　昌，　橋村吾郎，　山崎和恵，
米山俊之，　興梠精孝，　佐藤義孝，　林　　靖，
大東英雄，　八田俊永，　葭本正美，　木村茂之，
小柳良久，　大島一夫，　坂井　尚，　諏訪　宏，
中嶋一郎，　白土俊祐，　中川威彦，　森田　武，
上田宗一郎，仁村文和，　森田憲司，　板井丈治，
関口淳平，　土屋雅洋，　中村貴真，　真島隆一，
吉村公一，　宇毛　玲，　織田正明，　東　高士，
梅澤靖匡，　玉木克弥，　深瀬康公，　福井　朗，
吉浜　太，　木村　亮，　高橋寿夫，　中谷光代，
真鍋尚子，　大浦寿郎，　河合泰輔，　部谷真一，
大村博之，　大瀧　信，　出口勝敏，　植田晃久，
伊藤　玲，　小島章広，　衣知川明佳，坂村昭彦，
老川秀紀，　近藤誉一郎，夏梅和子，　前川修一郎，
村松広康，　杉村大介，　田邊忠輝，　藤井　彰，
松本裕子，　淺原洋士，　岡部千香夫，金子　茂，
永井　豊，　前田一義，　坂元陽子，　森　和久，
小野貴庸，　續　雅子，　佐藤範幸，　齋藤　透，
浅井勇吾，　竹内　誠，　中島英元，　高井智之，
堤　王宏，　武井賢郎，　佐野倫三，　藤本拓司，
名取健寿，　馬場　清，　澤本佳宏，　出村　昇，
藤野陽子，　片山荘太郎，浜地宏哉，　渡辺和俊，
仲山　恒，　阿部恵一，　木村健二，　有田晴吾，
西村良一，　今村栄作，　金子昌豊，　北村陽介，
鈴木貴詞，　右田泰之，　広瀬大希，　前田幸彦，
釣谷宗義，　古賀勝博，　津田宏尚，　佐藤康訓，
国分栄仁，　瀬良昌俊，　橋本　昭，　丸川雅弘，
三冨純一，　天野めぐみ，神谷英道，　丸尾道彦，
村岡宏祐，　青木謙典，　岩本　修，　豊福司生，
前田秀朗，　柳田晶夫，　生山　隆，　江崎友大，
松原秀憲，　宮崎浩彦，　市川恭大，　澤江義則，
赤間　圭，　古賀美幸，　田窪道広，　中川晃貴，
中澤　玲，　林田京子，　堀部康宏，　松本哲也，
西村治美，　和田　力，　北川善政，　中村美喜子，
藤井理絵，　宮内和樹，　茂木忠泰，　有吉　渉，
管野貴浩，　篠原俊介，　高野裕史，　横田嘉郎，
横山伸夫，　高橋秀明，　山田久弥，　山田　康，
田苗正夫，　森　一晃，　笛木　貴，　戸川直幹，
行木亜希子，金井久弥，　木下　滋，　高橋裕喜，
土屋嘉緒里，土屋嘉都彦，中野浩嗣，　山田哲史，
吉田陽一，　後藤　大，　八木原一博，鈴木虎一，
英保慎也，　林　　理，　森定　健，　井出尾篤志，
細川その代，牧野賢嗣，　岩本健治，　岩永誠一，
小谷武司，　貞岡岐信，　佐鳥　茂，　長尾龍典，
中島　徹，　森永大作，　中西　一，　溝部健一，
深田晃年，　森岡千尋，　吉村英泰，　堀内俊克，
田畑幸樹，　山田哲也，　辺土名朝憲，水口稔之，
大貫敬嘉，　日高智恵美，老沼博一，　小沢良美，
小沢　博，　瀧野裕行，　齋藤眞且，　寺澤和彦，
橋本正基，　関根　靖，　沖　斉賢，　杉戸一博，
長井昭彦，　近藤繁宗，　立花哲也，　三浦裕之，
山田哲司，　千早洋嗣，　四倉清仁，　朴　幸佑，
久賀陽子，　清水拓馬，　山口康介，　木村匡司，
中川正治，　高橋　浩

（以上 214 名）

## 第 35 回日本インプラント学会学術大会案内

開催日：2005 年 9 月 17 日（土），18 日（日）
会　場：弘前市民会館，弘前文化センター，ホテルニューキャッスル，弘前商工会議所会館（弘前市）
大会長：木村博人（弘前大学医学部歯科口腔外科学講座）
準備委員長：小林　恒（弘前大学医学部歯科口腔外科学講座）
連絡先：〒 036-8562　弘前市在府町 5
弘前大学医学部歯科口腔外科学講座
電話：0172-39-5126，FAX：0172-39-5128
E メール：kouge@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 第 36 回日本インプラント学会学術大会案内

開催日：2006 年 9 月 17 日（日），18 日（月）
会　場：朱鷺メッセ（新潟市）
大会長：畑　好昭（日本歯科大学新潟歯学部歯科補綴学第 2 講座）
準備委員長：渡邉文彦（日本歯科大学新潟歯学部歯科補綴学第 2 講座）
連絡先：〒 951-8580　新潟市浜浦町 1-8
日本歯科大学新潟歯学部歯科補綴学第 2 講座
電話：025-267-1500，FAX：025-231-0231
E メール：fumi@ngt.ndu.ac.jp

## 第 24 回日本口腔インプラント学会<br>中国・四国支部総会・学術大会案内

開催日：2004 年 11 月 13 日（土），14 日（日）
会　場：鳥取県歯科医師会館
大会長：岡本日出夫（岡本歯科医院）
準備委員長：玉木裕之助，馬渕　優
連絡先：689-1112　鳥取市若葉台南 6-23-30
玉木歯科医院
電話：0857-52-6090，FAX：0857-52-6091

## 第 22 回日本口腔インプラント学会<br>九州支部総会・学術大会案内

開催日：2005 年 2 月 19 日（土），20 日（日）
会　場：佐賀市文化会館
大会長：後藤昌昭（佐賀大学医学部歯科口腔外科学）
準備委員長：式守道夫（佐賀大学医学部歯科口腔外科学）
特別講演　2005 年 2 月 20 日（日）
「Clinical evaluation and comparison of titanium implants and HA coated implant」
Edwin A. McGlumphy（オハイオ州立大学歯学部補綴学講座）
認定医更新用教育講座：高森　等（日本歯科大学インプラントセンター）
連絡先：〒 849-8501　佐賀市鍋島 5-1-1
佐賀大学医学部歯科口腔外科学
電話：0952-34-2397，FAX：0952-34-2044
E-mail：shikimor@saga-med.ac.jp

## 第 24 回日本口腔インプラント学会
## 東北・北海道支部総会・学術大会案内

開催日：2004 年 10 月 16 日（土），17 日（日）
会　場：福島県立医科大学講堂
〒 960-1295　福島市光が丘 1　TEL：024-547-1111
大会長：川嵜建治（福島大学医学部歯科口腔外科）
準備委員長：菅野　寿
特別講演　10 月 16 日（土）16：40〜18：00
「Immediate Loading of Nobel Biocare's Implant Systems including "Teeth-in-an-Hour"」
Ingvar Ericsson 教授（Department of Periodontology, Faculty of Odontology, Gothenburg University, Sweden；Department of Prosthodontics, Lund University, Sweden）
認定医更新用教育講座　10 月 17 日（日）10：00〜10：50
「生体電気刺激の口腔インプラントへの応用」
越智守生（北海道医療大学歯学部歯科補綴学第 2 講座）
教育講演　10 月 17 日（日）11：00〜11：50
「歯の移植と凍結保存」
芳澤享子（新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野）
ランチョンセミナー　10 月 17 日（日）12：00〜12：40
「Procer CAD/CAM システムを応用した CNC ミリングテクニックによるワンピースインプラントブリッジ」
小湊秀利（早稲田インプラントセンター）
懇親会：10 月 16 日（土）午後 7 時　ホテルサンルートプラザ福島
〒 960-8041　福島市大町 7-11　TEL：0240-525-2211
お申込み・お問合せ先：〒 960-1295　福島市光が丘 1
福島県立医科大学歯科口腔外科内
第 24 回日本口腔インプラント学会東北・北海道支部総会事務局
電話：024-547-1353，FAX：024-549-2700
E-mail：hs-kanno fmu.ac.jp

## 第 25 回日本口腔インプラント学会
## 中部支部総会・学術大会案内

開催日：2004 年 11 月 21 日（日）
会　場：名古屋国際センター別棟ホール
〒 450-0001　名古屋市中村区那古野 1-47-1　TEL：052-581-5691
大会長：田川　清
準備委員長：大原敏正
特別講演　「長期臨床例からみたインプラント成功への道」
山上哲贇（京都インプラント研究所）
認定医更新用教育講座「インプラントオーバーデンチャーの問題点と解決法」
前田芳信（大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部）
お申込み・お問合せ先：〒 471-0071　豊田市東梅坪町 1-4-1
みずの歯科医院　水野直紀
電話：0565-31-8001，FAX：0565-31-8018
E-mail：mizunodc@orion.ocn.ne.jp

## 目　次

本号のトピックス（日本歯科医学会専門分科会加入承認/第 34 回学会総会・学術大会(大阪)案内）……1
平成 15 年度日本口腔インプラント学会各種委員会活動報告 ……2
日本歯科インプラント器材協議会の紹介 ……5
研修施設紹介
　九州インプラント研究会（KIRG）……7
　北海道形成歯科研究会 ……8
　九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 ……9
　北海道医療大学歯学部歯科補綴学第二講座 ……10
第 34 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会案内 ……12
支部活動報告
　中国・四国支部 ……13
　九州支部 ……13
WCOI 6 開催される ……14
平成 15 年度指導医・認定医・基礎系指導医合格者 ……14
新入会者紹介 ……15
第 35 回日本インプラント学会学術大会案内 ……16
第 36 回日本インプラント学会学術大会案内 ……16
第 24 回日本口腔インプラント学会中国・四国支部総会・学術大会案内 ……16
第 22 回日本口腔インプラント学会九州支部総会・学術大会案内 ……16
第 24 回日本口腔インプラント学会東北・北海道支部総会・学術大会案内 ……17
第 25 回日本口腔インプラント学会中部支部総会・学術大会案内 ……17
会員名簿発刊される ……4
広報委員会からのお知らせ ……11
目次 ……20
広告 ……18, 19, 20

Do it Yourself

bicon DENTAL IMPLANTS
Sensible Implant Dentistry Since 1985
お問い合わせは フリーダイヤル:0120-8150-62
バイコンジャパン株式会社　〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-3-12 アージョ I 7F
http://www.bicon.com
外国製造医療用具承認番号 20800BZG00044000, 20800BZG00045000, 20800BZG00046000

Happy Smiles & Heartful Communication
国内初 歯科・頭頸部用X線CT
MORITA

夢の3次元画像を実現

歯科・頭頸部用小照射野X線CT装置
3DX MULTI-IMAGE MICRO CT
スリーディーエックス マルチイメージ マイクロCT

●1回の撮影で、高精細の3次元画像が得られます。
●3次元画像は、3DXソフトにより、任意の3方向断面の観察ができます。
●パノラマ撮影とほぼ同等の撮影時間・照射線量で、高分解能の3次元情報が得られます。
●インプラント、根尖病巣、顎関節、埋伏歯などの診断、精査に最適です。

日本大学歯学部・株式会社モリタ製作所 共同開発
■標準価格 25,200,000円
■医療用具承認番号 21200BZZ00757000
※標準価格は2003年8月21日現在のものです。
標準価格には消費税等は含まれておりません。

品質マネジメントシステム　環境マネジメントシステム
ISO9001 認証 JQA-0933　ISO14001 認証 JQA-EM0543
製造　株式会社モリタ製作所

株式会社モリタ　株式会社モリタ製作所　株式会社モリタ東京製作所

# 第34回日本口腔インプラント学会総会・学術大会　前納者名簿

No.

代表者氏名（ふりがな）：

所属：

住所：〒

電話：　　FAX：　　E-mail：

| No. | 参加者氏名 | ふりがな | 資格ならびに認定医検定料 | | レシーバー（2日間） | | 弁当（26日（日）昼食） | | キャッシュバー懇親会（アンケート） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | 会員（10,000円） | 歯科技工士（5,000円） | 要（2,000円） | 不 | A（1,000円） | C（1,500円） | 参加（参加するかもしれない） |
| | | | 非会員（15,000円） | 歯科衛生士（5,000円） | | | B（1,000円） | 不 | しない |
| | | | 学生（院生除）（3,000円） | 認定医ケープレ（10,000円） | | | | | |
| 2 | | | 会員 | 歯科技工士 | 要 | 不 | A | C | 参加（参加するかもしれない） |
| | | | 非会員 | 歯科衛生士 | | | B | 不 | しない |
| | | | 学生（院生除） | 認定医ケープレ | | | | | |
| 3 | | | 会員 | 歯科技工士 | 要 | 不 | A | C | 参加（参加するかもしれない） |
| | | | 非会員 | 歯科衛生士 | | | B | 不 | しない |
| | | | 学生（院生除） | 認定医ケープレ | | | | | |
| 4 | | | 会員 | 歯科技工士 | 要 | 不 | A | C | 参加（参加するかもしれない） |
| | | | 非会員 | 歯科衛生士 | | | B | 不 | しない |
| | | | 学生（院生除） | 認定医ケープレ | | | | | |
| 5 | | | 会員 | 歯科技工士 | 要 | 不 | A | C | 参加（参加するかもしれない） |
| | | | 非会員 | 歯科衛生士 | | | B | 不 | しない |
| | | | 学生（院生除） | 認定医ケープレ | | | | | |
| 6 | | | 会員 | 歯科技工士 | 要 | 不 | A | C | 参加（参加するかもしれない） |
| | | | 非会員 | 歯科衛生士 | | | B | 不 | しない |
| | | | 学生（院生除） | 認定医ケープレ | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 会員（10,000円）（　　）名 | 技工士（5,000円）（　　）名 | 要（　）名 | 不（　）名 | A（　　）名<br>B（　　）名<br>C（　　）名<br>不（　　）名 | 参加（　　）名 |
| 非会員（15,000円）（　　）名 | 衛生士（5,000円）（　　）名 | | | | しない（　　）名 |
| 学生（3,000円）（　　）名 | 認定医ケープレ（10,000円）（　　）名 | 要：2,000円 | | A，B：1,000円<br>C：1,500円 | |
| 小計 | 円 | 円 | | 円 | |
| 振込み金額合計 | 円 | | | | |

※申込人数が多い時は，本紙をコピーして下さい．なお，合計金額は最終用紙だけで結構です．

ご利用明細票
または払込票の
コピーをここに貼付

■郵便振替先

口座番号：00990-0-241500
加入者名：第34回日本口腔インプラント学会総会・学術大会

■振込み手数料は，各自ご負担下さい

■お振込みの場合は，会費払込受領書のコピーの添付とともに下記のFAXか郵送にてお送り下さい．

■FAX先：**06-6879-2387**

■問合先・郵送先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-8
阪大総診　34JSOI事前申込担当　山本英貴　宛
電話：06-6879-2386
大会専用E-mail：34jsoi@dent.osaka-u.ac.jp